FMV

B5FY-1921-02

FMVシリーズ

取扱説明書

内蔵DATユニット
（FMV-DT401）

FUJITSU

は じ め に

このたびは、FM Vシリーズ用内蔵DATユニット(FMV-DT401)をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
本書は、内蔵DATユニット(以下、本製品)の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

梱包物を確認してください

- 内蔵DATユニット(FMV-DT401)
- SCSI変換コネクタ
- ネジ×6
- 保証書
- 取扱説明書(本書)

万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

2003年10月

本製品のハイセイフティ用途での使用について
本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

安全上のご注意

電気製品は安全のため注意事項を守らないと、火災などにより死亡など人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐため次のことを必ずお守りください。

安全のため注意事項をお守りください。

この“安全上のご注意”をよくお読みください。

故障したら使わないでください。

不都合が生じた場合はそのままお使いにならず、故障・修理に関するお問合せ先(「お問合せ」→P. 14)またはご購入元にご連絡ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次の表示をしています。表示の内容を理解してから本文をお読みください。

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例	
	△記号は注意（警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中の具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中の具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

● 分解や改造はしないでください。

本製品を分解したり、改造したりしないでください。故障や感電、火災などの原因となります。

● 湿気、水漏れ、直射日光は避けてください。

感電や火災を防止するため、本体を次のような場所には放置しないでください。
・湿気やホコリの多い場所
・雨水などに濡れやすい場所
・車の中などの直射日光のあたる場所

⚠注意

● 本製品を取り扱うときは、コネクタ部に手を触れないでください。
● 極端な低温、高温の使用は避けてください。
● 強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

● 本装置のアクセス表示ランプの点灯中にパソコンの電源を切らないでください。テープのデータが破壊されるおそれがあります。
● テープを強磁界（磁石、モータ、トランスなど）に近づけないでください。データが破壊されることがあります。

目　次

1 概　要

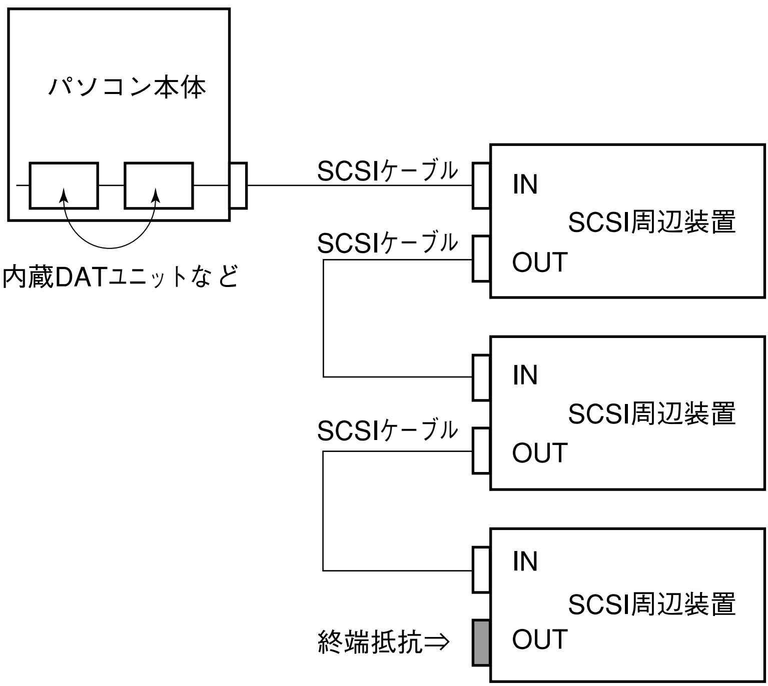
1.1　内蔵 DAT ユニットの概要

本製品は、FM V シリーズ用の内蔵 DAT ユニットです。

インタフェースに SCSI（Small Computer System Interface）を採用しており、SCSI バス上に複数台接続できます（パソコン本体にハードディスクユニットが接続されているときは、それも 1 台と数えます。）

ポイント

SCSI バス上に接続できる SCSI 機器の台数は SCSI カードにより異なります。カードの説明書をご覧ください。



1.2　内蔵 DAT ユニットの特長

本製品は次のような特長をもっています。

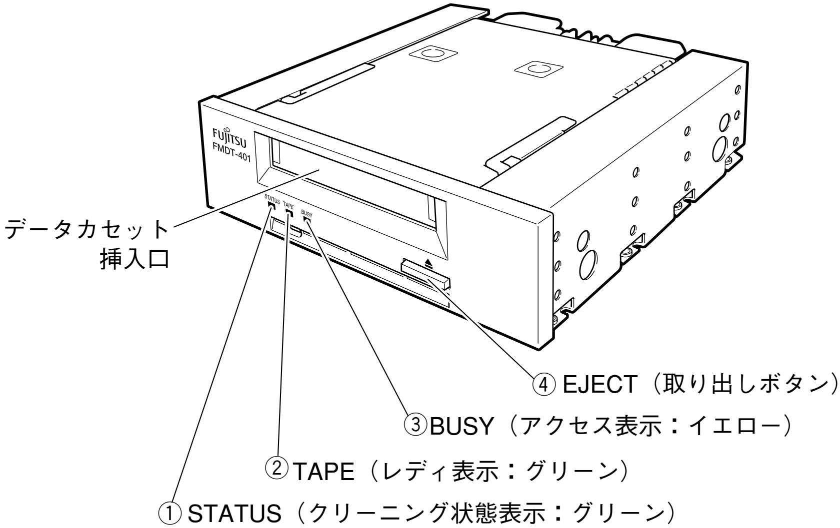
- パソコン本体に内蔵タイプなので、場所をとりません。

- 記憶容量は、テープ 1 巻で 20GB（圧縮時 40GB）と大容量の情報が記録できます。
  圧縮時40GB は、圧縮率2倍の場合です。圧縮率はデータの種類により変動します。

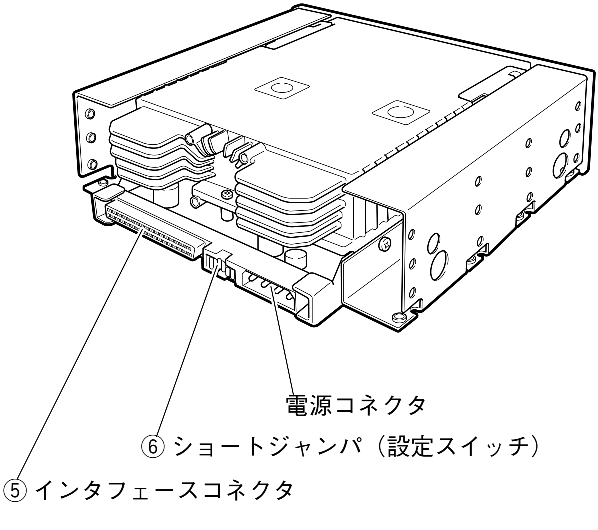
- 記録フォーマットは ANSI DDS（Digital Data Storage）規格に準拠しています。

1.3　外観および各部の名称

（前面／上面）



（背面）



1.4 各部の機能

① STATUS（クリーニング状態表示：グリーン）

クリーニングの必要があるときに低速で点滅します。さらにそのまま使用し続けると点灯します。

※ 低速で点滅または点灯するとき

ヘッドの汚れまたはデータカセットの劣化により、エラー訂正可能な内部エラーが多発していることを示します。本状態は、エラーの警告であり、書き込みおよび読み出しデータには異常はありませんが、エラーの発生を防ぐためヘッドクリーニングを行ってください。クリーニングを行っても点滅、点灯が解除されないときは、新しいデータカセットに交換してください。

② TAPE（レディ表示：グリーン）

カセットが挿入され、正常動作時点灯します。

※ 高速で点滅するとき

書き込みエラーが発生しています。ヘッドクリーニングを行い、再度書き込みを実施してください。クリーニングを行っても点滅が止まらないときは、新しいデータカセットに交換してください。

③ BUSY（アクセス表示：イエロー）

ドライブが、テープを読み取っているか書き込みを行っているときに点灯します。このときカセットを取り出すことはできません。

※ アクセスしていないのに高速で点滅するとき

データカセットを取り出して、本体の電源を切断してから、再度電源を投入してください。

上記の操作をしても点滅が止まらない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

④ EJECT（取り出しボタン）

ドライブに入っているデータカセットを取り出すときに押します。

⑤ インタフェースコネクタ

SCSI 変換コネクタを接続するコネクタです。

⑥ ショートジャンパ（設定スイッチ）

ドライブの SCSI-ID 番号の設定に使用します（6ページ参照）。

2 取り扱い上の注意

本製品は精密機器ですので、以下のことに注意してください。

- 極端な高温や低温の場所、または温度変化の激しい場所での保管は避けてください。
- 直射日光のあたる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- 衝撃や振動の加わる場所での保管は避けてください。
- 湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。
- 内部に液体や金属など異物が入った状態でお使いにならないでください。もし、何か異物が入ったときは、故障・修理に関するお問合せ先（「お問合せ」→ P. 14）またはご購入元にご連絡ください。
- パソコン本体の電源を切断するときは、データカセットを取り出してください。
- 本製品前面の汚れは、やわらかい布でからぶきするか、布に水または中性洗剤を含ませて、軽くふいてください。ベンジンやシンナーなど揮発性のものは避けてください。
- 寒い場所から暖かい場所に移動したり、室温を急に上げたりした直後は、内部が結露する場合があります。結露したままお使いになると、本製品やデータカセットが損傷することがあります。大きな温度変化があったときは、1時間以上待ってから電源を入れてください。
- お使いにならないときは、本製品からデータカセットを取り出してください。また、データカセットを入れたまま本製品を持ち運ばないでください。
- 本製品を分解したり、解体したりしないでください。

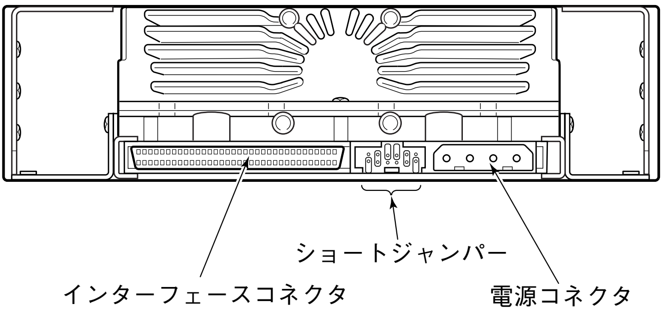
3 ドライブの設定

本製品をパソコン本体に装着してお使いになるには、本製品の背面についているショートジャンパで、ドライブ番号の設定をする必要があります（工場出荷時の設定は、ドライブ番号：＃4になっています）。

3.1　ドライブ番号の設定

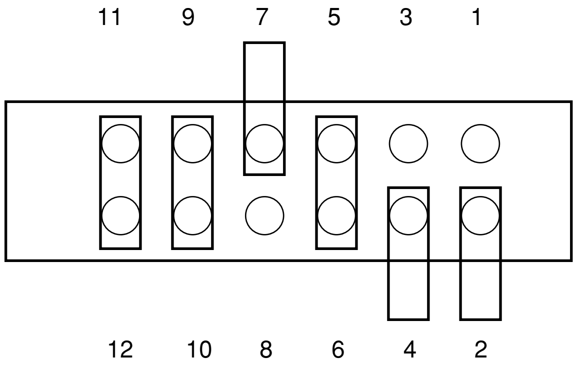
SCSI-ID番号は、内蔵DATユニット背面のショートジャンパで設定します。

（1）ショートジャンパの位置



（2）ショートジャンパの設定方法

ショートジャンパ（工場出荷時の設定）



（注）ショートジャンパ7、8、9、10、11、12および他の設定スイッチは、変更しないでください。（工場出荷時設定のままにしてください）

● SCSI-ID番号の設定

SCSI-ID番号	ジャンパ5、6	ジャンパ3、4	ジャンパ1、2
0	OFF	OFF	OFF
1	OFF	OFF	ON
2	OFF	ON	OFF
3	OFF	ON	ON
4 *	ON	OFF	OFF
5	ON	OFF	ON
6	ON	ON	OFF
7	ON	ON	ON

＊　：工場出荷時の設定

ON　：ショート状態

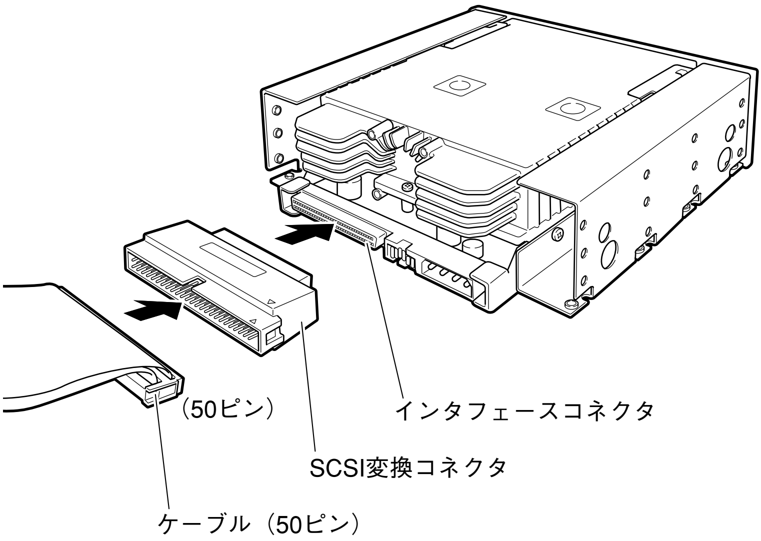
OFF：オープン状態

4 接続のしかた

接続の前に、パソコン本体の電源を必ず切ってください。

なお、接続方法の詳細は、パソコン本体に添付してありますマニュアルをご覧ください。

本装置にSCSI変換コネクタを接続します。その先にパソコン本体からのケーブルを接続します。

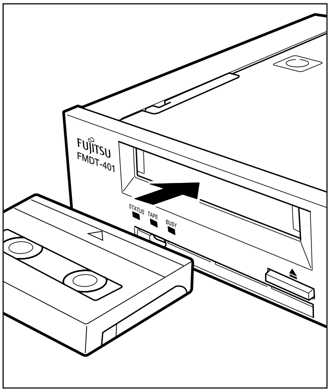


5 操作のしかた

5.1　データカセットの操作

1　セット方法

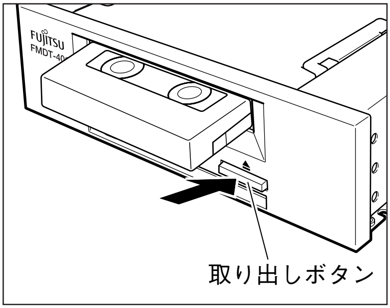
データカセットのラベル面を上に向け、ラベルが手前になるようにしてドライブにまっすぐ入れます。



※データカセットをセット直後にバックアップまたはリストアを実施される際は、BUSYランプ（イエロー）が消えてから開始してください。

2　取り出し方法

取り出しボタンを押します。



ポイント

電源が投入されていない状態では、データカセットのセットおよび取り出しはできません。

5.2 データカセットについて

本製品には、下記のデータカセットをお使いください。

品　　名	商品番号	備　考
データカセット DAT CT20G*1	0121190	20GB（150m）DDS-4 準拠
データカセット DAT CT12000*2	0121180	12GB（125m）DDS-3 準拠
データカセット DAT CT4000*3	0121160	4GB（120m）DDS-2 準拠
データカセット DAT CT2000*4	0121150	2GB（90m）DDS-1 準拠
クリーニングカセット DAT-N	0121170	

*1：CT20G は、FMV-DT401/FMDT-401 でのみ使用できます。
*2：CT12000 は、従来の DAT（FMDT-101/FMDT-201/FMDT-202/FMV-DT201/FMV-DT202/FM60DT101/FM60DT102/FMS-DT101/FMS-DT102）では使用できません。
*3：CT4000は、従来のDAT（FMDT-101/FM60DT101/FM60DT102/FMS-DT101/FMS-DT102）では使用できません。
*4：DDS-4 と DDS-1 の混在使用はできません。

使用上の注意

1 使用環境

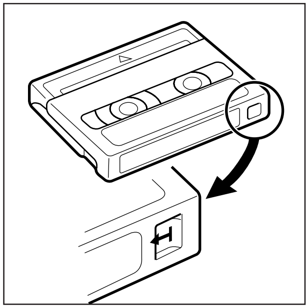
本カセットテープは以下の環境でご使用ください。

温度　　　　：5°C ～ 35°C
相対湿度　　：20% ～ 80%（結露しないこと。）
最高湿球温度：26°C

- 結露を避けるため、急激な温湿度変化（15°C ／時間、20% ／時間）のもとにさらさないでください。
- 使用環境が変わった場合、新しい環境のもとに 24 時間程度放置した後にお使いください。

2 書き込み保護について

カセットテープのデータを保護（ファイルプロテクト）するときは、図のように白いタブをスライドさせてください。



3 データカセットの寿命について

カセットテープは消耗品であり、使用回数に限りがあります。300回を目安にしてください。なお、お使いになる環境（温度、湿度など）や使用方法、装置のクリーニング状況によってはテープの傷みが早い場合もありますので、早めの交換をお薦めします。

6 清掃について

6.1　磁気ヘッドの清掃

本製品は、データの書き込み・読み取りに磁気ヘッドを使っています。
ヘッドがほこりやゴミなどで汚れていると、データの書き込み・読み取りが正常に行われないことがあります。
このようなことを未然に防ぐために、クリーニングカセットによる清掃をお薦めします。
清掃の目安は以下のとおりです。

(1) 本製品の使用時間が24時間ごとに1回の割合で清掃してください。
(2) STATUS（クリーニング状態表示）ランプが点滅したとき、清掃してください。
なお、清掃後も点滅が止まらない場合は、新しいデータカセットをお使いください。

6.2　クリーニングカセット

クリーニングカセットは下記のものをお使いください。

クリーニングカセット DAT-N
（サプライ番号：0121170）

7 Windows 98 でお使いになるお客様へ

FMV の Windows 98 プレインストールモデルでは出荷時の状態で、「Microsoft Backup」を使用してテープデバイスへバックアップすることはできません。「Microsoft Backup」でテープデバイスを使用する場合は、次の手順にしたがって、「Microsoft Backup」をインストールし直してください。

1. [スタート] –「設定」–「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックし、「Windows ファイル」タブをクリックします。
3. 「ファイルの種類」の一覧から「システムツール」を選択し、[詳細] をクリックします。
4. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoft バックアップ」のチェックをはずし、[OK] をクリックします。
5. 「アプリケーションの追加と削除」ダイアログで、[OK] をクリックします。表示されるメッセージにしたがい、パソコンを再起動します。
6. 「Microsoft Backup」の削除が完了したら、再度手順 1 ～ 3 を行います。
7. 「ファイルの種類」の一覧から「Microsoftバックアップ」をチェックし、[OK] をクリックします。
8. 「アプリケーションの追加と削除」ダイアログで、[OK] をクリックします。メッセージにしたがってパソコンを再起動してください。

【注意】

「Microsoft Backup」を再インストールすると、本体のパラレルコネクタに Plug & Play 対応の機器（プリンタなど）を接続した場合に、次のような問題が発生することがあります。

- 接続した機器がまったく認識されない
- パソコンを起動するたびに、接続した機器が検出される
- 同じ機器を接続しても、検出されたり、検出されなかったりする
- 接続した機器の動作が不安定になる

上記のような問題が発生する場合は、以下の方法で回避できることがあります。

- Windows 98 を起動したあとに、パラレルコネクタに接続した機器の電源を入れる
- ドライバのインストールがうまくいかない場合は、[スタート] –「設定」–「プリンタ」をクリックし、「プリンタの追加」からインストールする

上記の手順は一例です。詳細は、ご購入になった機器のメーカーに問い合わせるか、機器に添付のマニュアルを参照してください。

8 お問合せ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれの「お問合せ先」にご相談ください。

＊故障・修理に関するお問合せ先

［法人のお客様］

■「富士通ハードウェア修理相談センター」

・フリーダイヤル　0120-422-297

［個人のお客様］

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

・フリーダイヤル　0120-950-222

＊技術的なご質問、ご相談のお問合せ先

■「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

・フリーダイヤル　0120-950-222

－おかけ間違いのないよう、ご注意ください。

－各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。
　お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

－お問合せ時間　9：00 ～ 17：00（土日祝日、年末年始を除く）

9 仕　様

項　　目	FMV-DT401
対応モード	DDS-1/DDS-2/DDS-3/DDS-4*1
記憶容量 *2	20GB 圧縮時：40GB*3
転送レート	2.75MB/s（非圧縮時）
平均アクセス時間 *2	約 54s
インタフェース	SCSI-3
エラーレート（リード）	10^{-15}　ビット以下
温度	稼働時　5°C ～ 35°C

*1：DDS-4 と DDS-1 の混在使用はできません。

*2：DDS-4（150m テープ）での値です。

*3：圧縮時の記憶容量は、圧縮率が 2 倍である場合の値です。
圧縮率は、データの種類によって異なります。

FMVシリーズ
内蔵DATユニット（FMV-DT401）

取扱説明書

B5FY-1921-02-00

発 行 日　2003年10月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

Ⓐ 0310-2

FUJITSU

古紙配合率100% 再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK

Trademark of American Soybean Association

大豆油インキを使用しています。

B5FY192102